

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	尾道発達相談・療育支援センターあづみ園		
○保護者評価実施期間	2024年12月23日		～ 2025年1月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年12月23日		～ 2025年1月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月23日		～ 2025年1月24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8	(回答数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもと保護者、訪問先のニーズに沿った支援を提供している。	・事前のアセスメントで子どもの課題とニーズを明らかにする。 ・家族支援の機会を設けながら、保護者のニーズを把握し、ニーズの変化に対応する。 ・訪問先との連携体制を整え、利用児の環境変化にも対応できるよう努めている。	・アセスメントツールなどの標準化されたものも使用しながら、利用児の課題や特性に沿った支援を提供できるよう努めていく。
2	・保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有が出来ている。	・訪問後に保護者へ内容報告をする時間を30分～1時間確保している。 ・保護者のスケジュールに合わせながら、必要に応じてオンラインでの報告を行うこともある。	・就労中の保護者との連絡調整がよりスムーズに出来るよう、SMSメールやコドモンなどの連絡ツールを活用していく。
3	・利用に関する説明や個別支援計画の説明を丁寧に行っている。	・個別対応の時間を多く設けているため、説明をすることが出来ている。	・丁寧な対応・説明ができるよう個別対応できる時間とスケジュール調整を継続して行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援に使用する教具・教材の整備。	・訪問先の職員へのアドバイスは多いが、支援教材の作成頻度が少ない。	・教材の検討、工夫をしていく。 ・教材を取り入れた場合は保護者にも共有し、共通認識を図る。
2	・家族支援プログラムやペアレントトレーニングの実施。	・尾道発達障害児支援フォーラムを実施しているにも関わらず、保育所等訪問支援事業の利用児への案内をしていなかった。 ・個別にペアレントトレーニングを実施しているが、保護者にとってペアレントトレーニングであるという認識が薄い。	・尾道発達障害児支援フォーラムの案内を保育所等訪問支援事業利用児にも配布する。 ・家族支援の際にペアレントトレーニングを取り入れる。また、その際に資料を使用するなど、明確化を図る。
3	・職員間での打ち合わせや振り返りの実施。	・訪問員が1名のため、チームで実施することが難しい。	・他事業所の訪問員と事例検討を行う。 ・管理者や児童発達支援事業・放課後等ディサービスの職員とケース会議やカンファレンスを行う。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園

公表日 2025年 2月 14日

利用児童数 2025年 1月 11日 回収数 12/14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	49.8%	16.6%	0%	33.2%	・可視カードが欲しいとお願いしたら 作ってもらえた。	・教材の検討・工夫をしていく。 ・教材を取り入れた場合は保護者にも共 有し、共通認識を図る。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%	0%	0%	0%	・個室で面談出来ている。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・適切に説明されている。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	83%	8.3%	8.3%	0%	・相談の上決定されている。 ・学校との日時決定後、保護者には連絡のないま ま実施され、実施後に連絡がくることがあった。	・保護者への事前連絡を徹底していく。また、就労 中の保護者と連絡がとりやすいようSMSメールや ゴドモンなどの連絡ツールの使用も検討する。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	83%	8.3%	0%	8.3%	・支援が提供できる職員体制だと思う。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	91.3%	8.3%	0%	0%	・こどもの特性に応じた専門性のある支 援が受けられている。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されている と思いますか。	100%	0%	0%	0%	・作成されていると思う。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向 が盛り込まれていると思いますか。	74.7%	16.6%	0%	8.3%	・訪問先施設や担任などの意向が盛り込まれ ている。 ・小学校の担任の先生が協力的ではないの で、支援がどこまで行き届いているのか残念 ながら分かりません。	・担任の先生からの協力体制が得られるよ う、より丁寧な説明や負担の少ない訪問方法 の検討を行っていく。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等 訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が 設定されていると思いますか。	91.3%	0%	0%	8.3%	・具体的な支援内容が設定されている。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	83%	8.3%	0%	8.3%	・行われている。	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われてい ると思いますか。	91.3%	0%	0%	8.3%	・行われている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明があ りましたか。	100%	0%	0%	0%	・説明があった。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました か。	100%	0%	0%	0%	・説明があった。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていま すか。	66.4%	16.6%	0%	16.6%	・行われている。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の方 況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・共通理解が出来ている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	91.3%	8.3%	0%	0%	・支援が行われている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	83%	8.3%	0%	8.3%	・支援されていると思う。	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	91.3%	0%	0%	8.3%	・子供の事で相談した際、すぐ面談をし て下さり、助かりました。	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	91.3%	8.3%	0%	0%	・配慮されている。	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行 われていると思いますか。	91.3%	0%	0%	8.3%	・行われている。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・行われている。	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・適切な共有ができています。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	66.4%	0%	0%	33.2%	・発信されている。	・広報誌やホームページの記載などについて案内をしていく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	83%	0%	0%	16.6%	・留意されている。	・鍵のかかる棚にケースを保管しているなど、個人情報の取り扱い状況について、より安心してもらえよう周知する。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	91.5%	0%	0%	8.3%	・実践できるようにしている。	
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・行われている。	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%	0%	0%	0%	・嫌がっていない。 ・楽しみにしています。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	91.5%	8.5%	0%	0%	・満足している。 ・2ヶ月に1回の訪問と聞いていたが、4ヶ月に1回の訪問しかなく、支援されているとあまり感じない。	・高頻度での訪問の必要性がなくなった利用児については、保護者に丁寧に説明を行い納得を得ていく。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2025年 2月 14日				
尾道発達相談・療育支援センターあづみ園		利用児童数 2025年 1月 24日 回収数 6/8				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%	0%	0%	・パターンの取り入れ方を学ぶことができて、良かった。 ・運動面についての資料を頂けて分かりやすくてよかった。 ・実際に子どもの様子を見て、こどもの様子から本児の困り感を伝えて下さったため、その後のこどもの関わりに活かすことができた。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%	0%	0%	・対象児だけでなく、クラスの様子等も伝えと、周囲の児の伸ばしていくところなども教えて下さった。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%	0%	0%	・子供の様子を伝えると具体的に解決策を提示してくださり、ありがたかった。 ・困った際に電話対応もしてもらえてよかった。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	83%	17%	0%	・訪問支援利用児については解消された。療育を利用していない児についての関わり方も教えて下さった。 ・支援グッズを作成して下さって使用することが出来ました。	・訪問先の課題や困り感が解消されるよう、ニーズの把握を目指し、訪問時以外でも連絡・連携を行うようにしていく。
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%	0%	0%	・話の中で様々な方法を教えて下さり、集団でも活かすことができるものだったので、実践しやすかった。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・「こんな状況で困り感がある」と言う話をしっかりと聞いて下さり、関わり方や具体的な方法を教えて下さったり、自分自身が見えていなかったこどもの内面の姿を知ることが出来た。 ・こどもについてお互いの様子を伝えあい、連携をとることができてよかった。あづみ園の遊びを取り入れると子どもも「これあづみでもやったことがある」と言って楽しめてよかったので、引き続き活動内容を教えて頂きたいです。 ・学校の現状を把握した上で、今出来る事は何かを考えて頂き、職員間で共有することが出来ました。				・より現場に即した支援内容を提案できるよう訪問員の研修や事例検討会などを通して、質の向上に努めていく。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
尾道発達相談・療育支援センターあづみ園		2025年2月14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・児童発達支援事業や放課後等ディサービスで利用しているイラストを使用することで、子ども達が見慣れた教材が準備できている。	・教材のステップアップや、フェイドアウトについても話をしていく必要がある。 ・教材の検討・工夫をしていく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・利用者数に対して適切な人員の確保が来ている。	・訪問員が1名なため、支援内容の偏りが考えられる。複数の職員からの意見やアドバイスなどを参考にできるとよい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・管理者や副園長、他の事業所の訪問支援員と情報共有をしながら業務を進めている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価を全保護者に配布し、把握するよう努めた。	・今年度のご意見を踏まえ、保護者への連携・連絡を徹底しつつ訪問支援を継続していく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・管理者が意見を聞く機会を設けてくれている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・外部評価をお願いしている。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・個人情報保護や虐待等の研修に参加している。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・事前にアセスメントを行いながら、個別支援計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・管理者や副園長、相談支援員と相談しながら決定している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・モニタリング後に支援計画会議を訪問先にて開催し、意見を聞いている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・共有しながら行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・必要性があったため、心理検査を行うケースがあった。	・行動分析表や行動チェックリストなどを取り入れていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・頻度や達成度が明確になりやすい目標を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画に沿った支援を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	・訪問員が1名のため打ち合わせを行うことが難しい。 ・訪問先や訪問目的・目標・必要な配慮などは管理者と共有しながら訪問している。	・他事業所の訪問支援員と共有する機会などを設ける。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・訪問員が1名のため打ち合わせを行うことが難しい。 ・記録や報告などを通して、他の職員とは共有する機会を設けている。	・事例検討会などを通して、振り返りの機会を設けていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・クラス運営の中で最適な支援内容を提案できるよう努めている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・必ず残すようにしている。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的なモニタリングと、訪問先との個別支援計画会議の開催を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者兼訪問員が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・主治医や教育委員会と協力しながら就学先の選定などに努めている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保幼小連携の機会を活用しながら、訪問先職員と情報整理を行い、訪問先を介して伝えてもらうようにしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部講師から助言をもらっている。	
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子こども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・管理者が参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・訪問時の報告や家族支援の際に確認作業を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・フォーラムの案内を配布していなかった。 ・個別にペアレント・トレーニングを行っているが、保護者の認識が薄かった可能性が考えられる。	・フォーラムなどの案内を利用者にも今後は配布していく。 ・ペアレント・トレーニングであることを明確化して保護者に指導していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・パンフレットなどを活用しながら理解してもらえるよう努めている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリングや家族支援の場で意向確認する機会を設けている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・紙面を共有しながら説明している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・緊急時には電話対応をしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・勉強会など、他の保護者と交流できる機会を設けられるよう検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者の申し出により面談を行うことがあった。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	・広報誌やホームページに情報を記載しているが共有が不十分だった。	・広報誌やホームページの記載などについて案内をしていく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個室にて対応している。 ・保護者の要望により居宅訪問をして家族支援を行っているケースがある。	
訪問先施設	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードを使用して支援をして支援をするケースがある。 ・保護者や訪問先と動画や写真で情報共有することがある。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・訪問先からの質問に電話対応することがある。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・必ず設けるようにしている。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・訪問後は報告時間を30分～1時間設けるようにしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・訪問時に必要な情報以外の共有は行っていない。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・信頼関係の構築に努めながら訪問を行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・策定し、契約時に説明している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・避難訓練、消火訓練、心肺蘇生法などの訓練・研修を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・今年度はなかったが、発生時は共有し、検討する。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修を受けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・必要と思われる利用児は保護者・訪問先・管理者とで確認をし、了承を得た上で、個別支援計画に記載している。 ・必要がなくなった場合は個別支援計画を変更し、記載を削除している。	